報道関係者各位　　NEWS RELEASE　2016.11.10

さいたまトリエンナーレ2016
最新情報のお知らせ

共につくる、参加する芸術祭「さいたまトリエンナーレ2016」は
9月24日から12月11日まで開催しています。
隔週で最新情報をお届けいたします。

Topics

■１　：　大友良英＋Asian Music Network　秋の大型音楽イベント開催！！
■２　：　鈴木桃子がアーティストトーク開催　作品を消すプロセス、ついにスタート！
■３　：　捩子ぴじん × 障害者福祉施設・春光園うえみずによるダンス公演
■４　：　長島確+やじるしのチーム　参加者募集！

■１：　大友良英＋Asian Music Network　秋の大型音楽イベント開催！！

参加者と共につくる音楽パフォーマンス

大友良英とアジアからの招聘アーティストが、一般参加者と共につくりあげる音楽パフォーマンス。
滞在制作を経て、トーク、ライブ、ワークショップなどを4日間に渡り開催。最終日となる11月27日は、《Ensembles Asia Special》としてその集大成を披露するほか、当日の飛び入り参加もOKな大友良英によるオーケストラワークショップ、参加型のパフォーマンスなどを開催。各アーティストのソロ演奏や展示など誰もが楽しめ質的にも大満足のパフォーマンスです。さまざまな音楽が楽しめる一大音楽プロジェクトで、さいたまトリエンナーレ２０１６のなかでも最大級のイベントです。

■１： 大友良英＋Asian Music Network　秋の大型音楽イベント開催！！

イベント概要

11月24日（木）　ワークショップ
大宮小学校ワークショップ
小学校3年生と4年生を対象としたワークショップを行います。3年生は牧野貴によるワークショップ。フィルムに描き、3Dアート映像を制作し、27日のパフォーマンス時に上映します。4年生は大友良英によるワークショップ。楽器や音の出るものを持ち寄り、演奏します。27日にはその成果を発表します。
（一般の方はご参加いただけません）
時間　10:45-12:25　会場：大宮小学校
※教育機関への事前の許可が必要なため、取材をご希望の方は**11月22日（火）12時まで**に
広報(press@saitamatriennale.jp)へご連絡ください。また、多数の場合はお断りする場合がございます。

11月25日（金）　トーク＆ライブ
大友良英とアジアからの招聘アーティストによる音楽ライブ＆トークイベント
時間：19:00-21:00
会場：市民会館おおみや　小ホール
出演：大友良英、ユエン・チーワイ、dj sniff、アーノント・ノンヤオ、デュト・ハルドノ、牧野貴
※入場無料／自由席／予約優先

11月26日（土）　ワークショップ
アーノント・ノンヤオによるワークショップ
「自転車を使って様々な音のなる楽器を作って演奏しよう」
ガラクタで楽器を作り、実際に乗れる自転車をプレイヤーにして音楽を奏でます。翌日27日のイベントで演奏するほか、17:00から大宮駅東口銀座通り（ラクーン前）にて演奏します。
時間：10:00-13:00　　会場：大宮小学校　会議室
※予約制／参加無料／定員20名(小学校低学年以下は保護者の同伴)

デュト・ハルドノによるワークショップ
「古いカセットテープを使って新しい音楽をつくろう」
古いカセットテープをつなぎ新しい音楽を制作。つくったカセットテープは翌日27日のイベントで展示・演奏します。
時間：14:00-17:00　　会場：大宮小学校　会議室
※予約制／参加無料／定員20名／8歳以上

11月27日（日） Ensembles Asia Special

アーティストとワークショップ参加者による音楽パフォーマンス。 ワークショップの成果を披露するほか、 当日の飛び入り参加OKの大友良英によるオーケストラワークショップ、 参加型のパフォーマンスなどを開催。 各アーティストのソロ演奏や展示など盛りだくさんなイベントです。
時間：12:00-16:30（大友良英によるオーケストラワークショップは12:00-12:40に開催！）
会場：大宮小学校　体育館ほか
出演：大友良英、ユエン・チーワイ、dj sniff、アーノント・ノンヤオ、デュト・ハルドノ、牧野貴
※予約不要／入場無料

イベントの詳細・予約はこちらをご覧ください

■１： 大友良英＋Asian Music Network　秋の大型音楽イベント開催！！

アーティスト紹介

大友良英　OTOMO Yoshihide (Japan)
1959年、横浜市生まれ。東京都在住。音楽家。
ギタリスト、ターンテーブル奏者、作曲家、映画音楽家、プロデューサー。近年は、さまざまな背景を持つ人たちとの協働による参加型プロジェクトに力を入れ、2011年の東日本大震災を受け「プロジェクトFUKUSHIMA!」を立ち上げる。

Asian Music Network
大友良英がディレクターを務めるアジア地域との交流を図る音楽プロジェクト「アンサンブルズ・アジア」のプログラムの一つとして2014年に結成。プロジェクトディレクターにユエン・チーワイと水田拓郎（dj sniff）を迎え、伝統的な価値観や商業主義に捉われることなくインディペンデントな活動をしている音楽家やオーガナイザーを中心とした新しいネットワークの形成を目指す。

ユエン・チーワイ　YUEN Chee Wai （Singapore）
音楽家、デザイナー。インスタレーション、ダンス、映画、テレビ、ラジオなど幅広い分野のサウンドデザインや作曲を手がけ、世界各国で活躍。無数の電子機器を用い、ドローン・アンビエント・フィールドレコーディングのスタイル・手法で音楽を創ることや即興的なサウンド、ノイズの探求で知られる。

dj sniff （水田拓郎・Takuro Mizuta Lippit）　（Hong Kong/Japan）
香港在住。音楽家、キュレーター。アムステルダムのSTEIM電子楽器スタジオで長年ArtisticDirectorを務める。ターンテーブルと独自の演奏ツールを組み合わせながら実験音楽/インプロビゼーション/電子音楽の分野で活動する。

アーノント・ノンヤオ　Arnont NONGYAO　（Thailand）
1979年、バンコク生まれ。大学で絵画を専攻しながらも、音響、映像、インスタレーション、サイトスペシフィックアートとパブリックアートを含む、様々な手法を作品に取り入れた活動を行っている。振動に関心を持ち、振動に関する多様な実験的なアートプロジェクトに取り組んでいる。

デュト・ハルドノ　Duto HARDONO　（Indonesia）
アーティスト、実験音楽家、教育者。コラージュやドローイングの2次元に留まらず、日常品、使い捨ての楽器、レコードやカセットテープなどの既製品を動的に作品に取り入れる。大衆文化、コンセプトアートや反アート運動から着想を得て、ダークヒューモアとアイロニーを帯びた作品を展開している。

牧野貴　MAKINO Takashi　（Japan）
映画作家。2004年より単独上映会を開始。フィルム、ビデオを駆使した、実験的要素の極めて高い、濃密な抽象性を持ちながらも、鑑賞者に物語を感じさせる有機的な映画を制作している。前衛音楽家と共同作業においても、世界的に高い評価を獲得している。数多くの国際映画祭で受賞、上映多数。

■２： 鈴木桃子がアーティストーク開催　作品を消すプロセスがついにスタート！

《アンタイトルド・ドローイング・プロジェクト》 ｜2016年　Photo: Koichiro Kutsuna, Arecibo

永遠に未完の作品《アンタイトルド・ドローイング・プロジェクト》の次なるプロセスとは？

さいたまトリエンナーレ２０１６参加作家として滞在制作中のアーティスト・鈴木桃子は、これまでイギリスや香港等で制作・発表を行ってきましたが、国内で開催される国際展に作品を発表するのは初めての機会となります。
今回は、実際の作品を背景に芹沢ディレクターとのトークを繰り広げ、これまでの作品について、制作に至る経緯や背景、今後の活動の展望などについて話します。
出展作品は、これまで鈴木が一貫して続けている、壁面にドローイングを描いたあとに、そのドローイングを消し去ることで最後は無の空間に帰する、壮大な宇宙の生命のサイクルをコンセプトとした「アンタイトルド・ドローイング」です。
トーク後には、鈴木が会場に描いてきたドローイングを消しゴムで消していく時間を設けます。鑑賞者自らの手で作品を消していただくことで、最終的に何もない空間へとかえっていき、同作品は次の展示空間へと変容しながら生々流転をくりかえしていきます。

アーティストトーク詳細

●第1回アーティストトーク：11月20日（日）　→受付終了いたしました

●第2回アーティストトーク：12月3日（土）13:00 - 14:00　定員20名
※一般の方に先行して11月11日よりプレスの方を対象に参加募集いたします
なお一般の方へのご案内は11月22日頃を予定しています

お申込み方法
① ご所属、お名前（ふりがな）、媒体名
② メールアドレス、電話番号
③ 参加人数
④ カメラ撮影および映像撮影の有無
⑤件名「鈴木桃子トーク申込み：プレス」
①～⑤明記のうえ、event@saitamatriennale.jp　までご連絡ください

■３：　振子ぴじん × 障害者福祉施設・春光園うえみずによるダンス公演

《わからない？》｜2016年　Photo: KITA Naoto

アーティストオンサイトとは

さいたまトリエンナーレ２０１６の開催をきっかけに始まった連携プロジェクト。アーティストが様々な社会の現場（Site）で、対話を重ねながら、作品制作や現場の創造的な活動を生み出していく取組みです。今年はダンサー・振子ぴじん（ねじぴじん）のプロジェクトのほか、障害者福祉施設である「みずき園」とアーティスト・新井厚子の協働によりワークショップと音楽会での作品発表を行いました。

さいたまトリエンナーレを契機として、多くの市民とアーティストが「共につくる、参加する」芸術祭を目指しています。

ダンス公演 《わからない？》

ダンサー振子ぴじんが、さいたま市西区にある障害者福祉施設「春光園うえみず」に通いながら行ったダンスワークショップの成果発表公演！

日時　11月18日（金）14:00開演 / 13:30 開場
場所　春光園うえみず　（さいたま市西区大字佐知川299-16）
※入場無料／定員80名／要予約
お申込み・詳細についてはこちらをご覧ください

■４： 長島確 + やじるしのチーム　参加者募集！

《←》 ｜2016年

あなたのつくった ← が不思議な物語になる

共につくる、参加する芸術祭「さいたまトリエンナーレ」では多くの参加型プロジェクトがあります。
長島確+やじるしのチームでは、さいたま市に暮らすみなさんに思い思いの「←」をつくって、自宅や職場などに飾ってもらう参加型プロジェクトを展開しています。劇作家太田省吾の『↑（やじるし）』シリーズを出発点に、みなさんがつくった「←」を役者と共に巡り写真家が撮影をします。会期中には、大宮タカシマヤに撮影した「←」 の写真を大判の紙芝居として展示します。
まちですれ違うあの人も、このプロジェクトの参加者かもしれません。
不思議な物語を共につくり参加する、長島確+やじるしのチームの参加型プロジェクトです。

参加登録締切：11月23日（水・祝）
プロジェクトの詳細はこちらをご覧ください

参加アーティスト一覧

秋山さやか （日本）	アイガルス・ビクシェ （ラトビア）	チェ・ジョンファ （韓国）
藤城光 （日本）	ダニエル・グェティン （スイス）	日比野克彦 （日本）
ホームベース・プロジェクト （NYC、ベルリン、エルサレム、さいたま） ※出身地ではなく開催地	磯辺行久 （日本）	日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA （鶴見幸代、野村誠、樅山智子） （日本）
川埜龍三 （日本）	オクイ・ララ （マレーシア）	ロングフィルム・シアター （日本）
アダム・マジャール （ハンガリー）	松田正隆＋遠藤幹大＋三上亮 （日本）	目 （日本）
向井山朋子 （日本）	長島確＋やじるしのチーム （日本）	新しい骨董 （山下陽光、下道基行、影山裕樹） （日本）
西尾美也 （日本）	野口里佳 （日本）	岡田利規 （日本）
大洲大作 （日本）	大友良英＋Asian Music Network （日本）	小沢剛 （日本）
ウィスット・ポンニミット （タイ）	ソ・ミンジョン （韓国）	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF (Saitama Muse Forum) （日本）
ダンカン・スピークマン＋ サラ・アンダーソン （イギリス）	鈴木桃子 （日本）	髙田安規子＋政子 （日本）
多和田葉子 （日本）	マテイ・アンドラシュ・ ヴォグリンチッチ （スロヴェニア）	アピチャッポン・ ウィーラセタクン （タイ）
ユン・ハンソル （韓国）		

＊１０カ国より３４アーティストが参加／４８アートプロジェクトの展示

【さいたまトリエンナーレ２０１６開催概要】

テーマ「未来の発見！」

127万もの人々が生活するさいたま市に、世界に開かれた創造と交流の現場をつくりだそうとする国際芸術祭。テーマは「未来の発見！」。アートを鑑賞するだけでなく、共につくる、参加する芸術祭です。土地の歴史やまちの構造を想起させる、市内のさまざまな場所が会場となります。国内外のアーティストたちの多様で多彩な想像力に触発されて、私たちはさまざまな未来を夢見ていく。日本を代表する生活都市から生まれる、想像力の祭典をお楽しみください。

さいたまトリエンナーレ２０１６　ディレクター　芹沢高志

会期：　2016年9月24日（土）～12月11日（日）[79日間]

※定休日=水曜（ ただし11/23（水・祝）は開場、翌11/24（木）は閉場）

主な開催エリア：　与野本町駅～大宮駅周辺
武蔵浦和駅～中浦和駅周辺
岩槻駅周辺

主催：　さいたまトリエンナーレ実行委員会

ディレクター：　芹沢高志（P3 art and environment統括ディレクター）

各種記者発表資料は、
さいたまトリエンナーレ２０１６公式Webサイト内の
「プレス向け」よりダウンロードいただけます。

■お問合せ先■
さいたまトリエンナーレ２０１６ 広報担当（大久保・西山・河西・鈴木・森田）
〒330-0063 浦和区高砂2-8-9ナカギンザビル さいたまアートステーション
tel 048-711-8390 （月～金11:00-18:00） / fax 048-824-5361
press@saitamatriennale.jp